

テニスのゲームの進め方

テニスの試合は【ポイント】→【ゲーム】→【セット】→【マッチ】の順に進行していきます。

● ポイント

ポイント	0	1	2	3	4
表示	0	15	30	40	G
読み方	ラブ	フィフティーン	サーティー	フォーティー	ゲーム

● ポイントの数え方

15-0	15-15	30-15	40-15	40-30	40-40	A	G
フィフティーン ラブ	フィフティーン オール	サーティー フィフティーン	フォーティー フィフティーン	フォーティー サーティー	デュース (Deuce)	アドバンテージ (Advantage)	ゲーム (Game)

- 先に4ポイントを取った方が「ゲーム」を獲得します。
- サーブをする方から先に数えます。
- お互いに3ポイントずつ取って同点になった時は「40-40／デュース」となり、そのあと2ポイント差がつくまでゲームは行われます。
「デュースの」次のポイントを取ると「アドバンテージ」となり、
「アドバンテージ」を持っている方が、次のポイントを取ると「ゲーム」を獲得します。

● セット

- 1ゲームごとにサーブ権を交代し、2ゲーム以上の差をつけて先に6ゲーム取るとセットの勝者となります。
- ※ 5-5になった場合は先に7ゲーム取るとセットの勝者となる
- ※ 6-6になった場合は多くの大会でタイブレークが採用されていて、タイブレークの勝者が7-6でセットの勝者

● エンドの交代

- 各セットで奇数ゲーム(第1ゲーム、第3ゲーム、第5ゲーム…)が終了したらエンドを交代します(エンドチェンジ)。
- タイブレークでは6ポイントごとにエンドを交代します。

● サービス

- サーバーは、第1ポイントはデュースサイド(コート右サイド)からサービスを行い、第2ポイントはアドバンテージサイド(コート左サイド)からサービスを行い、ゲーム終了までこれを交互に行います。
- サーバーは1ポイントにつき2球サービスを打つことが出来ます。1球目のサービスを「ファーストサービス」、2球目のサービスを「セカンドサービス」と呼びます。2球続けて失敗すると相手のポイントとなります(ダブルフォルト)。

● コートのラインの呼び方

サイドライン(ダブルス)

サイドライン(シングルス)		(アリー)	
センター マーク	センターサービスライン		サー ビス ラ イ ン

ベ
ー
ス
ラ
イ
ン

← テニスコートの縦の長さ(ベースラインからベースライン間)：23.77m →

テニスコートの横の長さ：シングルス：8.23m・ダブルス：10.97m

(ダブルスコートは横に2.74m広く、その広くなった部分を「アリー」と呼ぶ)

- ベースライン
コートの縦方向の両端を結ぶライン
- サイドライン
コートの横方向の両端を結ぶライン
- サービスライン
ネットの両側から6.40mのところ、サイドラインと平行に引いたライン
- サービスコート
サービスラインとネットに囲まれたエリア
- サービスセンターライン
サービスコートを均等に分けるライン
- ※ ネット中央の高さは0.914m、両端は1.07m